

記載上の注意事項

I. 履歴書（別紙様式1）

- 1 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記入し、卒業、修了、中途退学について明記すること。
- 2 学位名欄には、（　　）書きで授与された大学名を併記すること。大学院在学中の者は、学位取得予定である旨記載すること。
- 3 職歴欄には、所属講座や診療科名等を記入し、退職、転勤、昇任について明記すること。
- 4 加入学会欄には、学会名、並びに学会における認定医・専門医・指導医等を有している場合その具体についても記入すること。
- 5 記載内容を確認し、自筆署名をすること。

II. 業績目録

A4版の用紙に以下の順序で記入すること。なお、業績には全てにわたる通し番号を付するものとする。

1. 学術論文、症例報告、総説

次に掲げる区分により、英(欧)文論文、邦文論文の順で記載すること。

(1) 学術論文

年代順に、通し番号、著者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、論文タイトル名、雑誌名、発行年（西暦）、巻、ページ（始めと終わり）の順で記載し、本人の名前にアンダーラインを引きくこと。掲載前の論文については、掲載証明のあるものを除き記載しないこと。なお、掲載証明を添付すること。オンラインでのみ公表されている場合は、URLアドレスを記載すること。

【記載例】

1. Jurasic MM, Gibson G*, Orner MB, Wehler CJ, Jones JA, Cabral HJ. Topical fluoride effectiveness in high caries risk adults. J Dent Res. 2022;101:898–904.

(2) 症例報告

前記の「学術論文」に準じて記載すること。

(3) 総説

前記の「学術論文」に準じて記載すること。

2. 著書

(1) 編著書の場合

編著者名、発行年（西暦）、書名、発行社名、発行地、総ページ数を記載すること。

(2) 単行本への寄稿論文の場合

執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、発行社名、発行地、掲載ページ（始めと終わり）を記載すること。

(3) 単行本への寄稿論文の場合

単行本として発刊された抄録集(proceedings)の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。

3. 翻訳書

前記の「著書」に準じて記入のこと。ただし、原著の書名、著者名、発行所名、発行地名も併記すること。

4. 特許等の取得および出願状況

国内と国際の、ならびに特許取得済と出願中に分けて、発明等の名称・番号・発明者・登録日あるいは出願日を記載すること。

なお、1. 学術論文、症例報告、総説の英(欧)文論文については、Impact Factor (IF)、被引用回数 (Citations: CI)等の集計のため、別紙様式2-1、2-2、2-3にもそれぞれ記入すること。その際、最新のIF(小数点以下第1位まで)、CIを記載すること。CIについてはWeb of Scienceより抽出したものとする。

III. 学会発表目録

A 4判の用紙に、(A)特別講演、(B)シンポジウム、(C)宿題報告、及び(D)一般演題等に分け記載すること。それぞれ年代順に通し番号を付け、発表者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、発表タイトル、学会名、発表年月日、開催地名を記載し、本人の名前にアンダーラインを引くこと。

IV. 主要学術論文の別刷

業績目録中の主要論文1編の番号に○印を付し、その別刷1部（コピー可）を添付すること。

V. 着任後の研究に対する抱負

A 4判の用紙2枚以内

VI. 科学研究費補助金・各種研究助成金等外部資金の獲得・受領状況（別紙様式3）

- (1) 現在までの獲得状況を直接経費、間接経費に分け記載すること。
- (2) 分担者としての助成金については、分担者として助成金を単独で直接受領した場合のみ記載し、その分担金額を記載すること。

VII. 発表論文、外部資金獲得状況（別紙様式4）

今までに発表した論文、獲得した外部資金について記載すること。

そ の 他 の 留 意 事 項

※. 選考過程中に応募を取り下げる場合には、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

(問い合わせ先)

大阪大学歯学研究科総務課人事係

TEL: 06-6879-2833

E-mail: si-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp